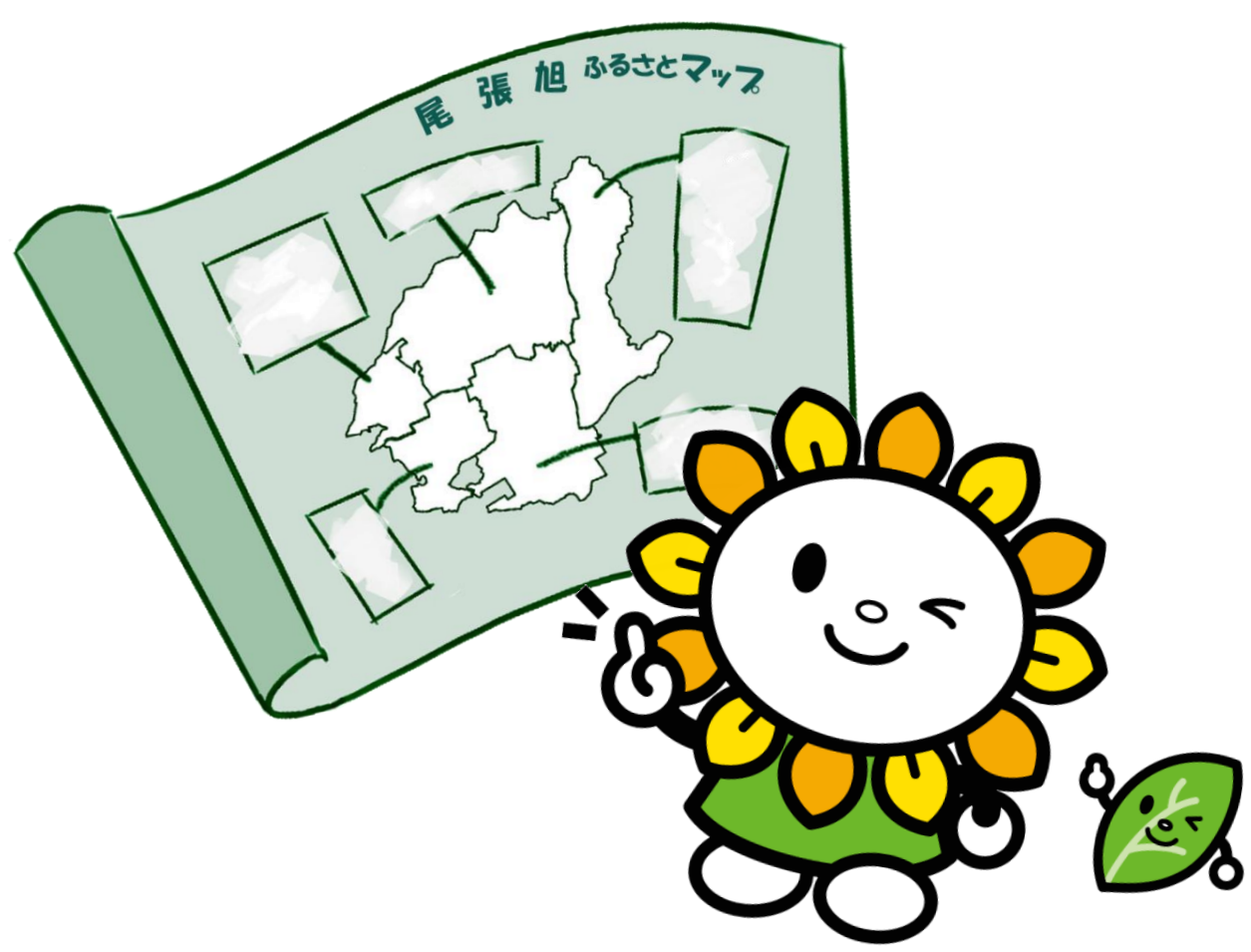


わくわくたんけん **隊**

尾張旭ふるさとマップ

を作ろう！



平成 29 年 8 月 7 日

あら 新  
い 居  
じょう 城  
あと 跡

むろまちじだい  
あらいじょう  
新居城は、**室町時代**(今から 600 年近く前)

に建てられたお城で、今は城山公園の中で保存されています。建てた人

は、新居地区を開拓した水野又太郎良春の子孫、**水野雅楽頭宗国**

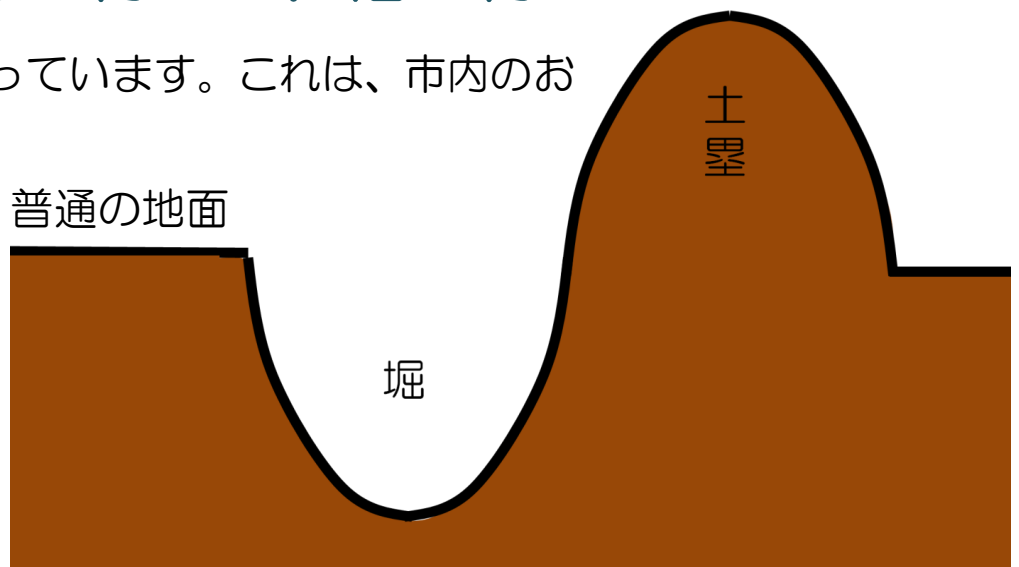
だと言われています。



## どんなお城だった？

新居城は、湿地に囲まれた小高い山の南の端にありました。城の東側と北側は、山とつながっていましたが、西側と南側は、すぐ湿地だったと伝わっています。山とつながっていた北側と東側は、敵が入ってくるのを防ぐために、「堀」と「土塁」で囲っていたことが分かっています。「堀」とは、外から敵が入りにくいように、地面を掘った溝のことを言います。「土塁」は、「堀」と逆に、土を盛り上げて、敵が入らないようにする壁のことを言います。新居城の「堀」の大きさは、深さが約5m、幅が約8m

ということが分かっています。これは、市内のお城の中で一番大きなものです。

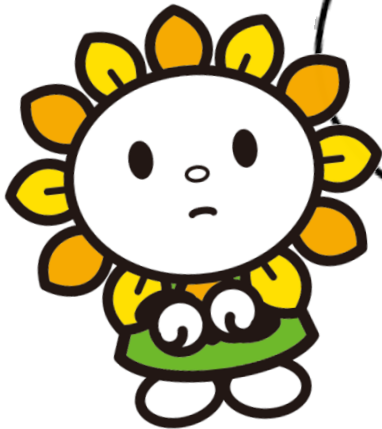


## 大森城との戦い

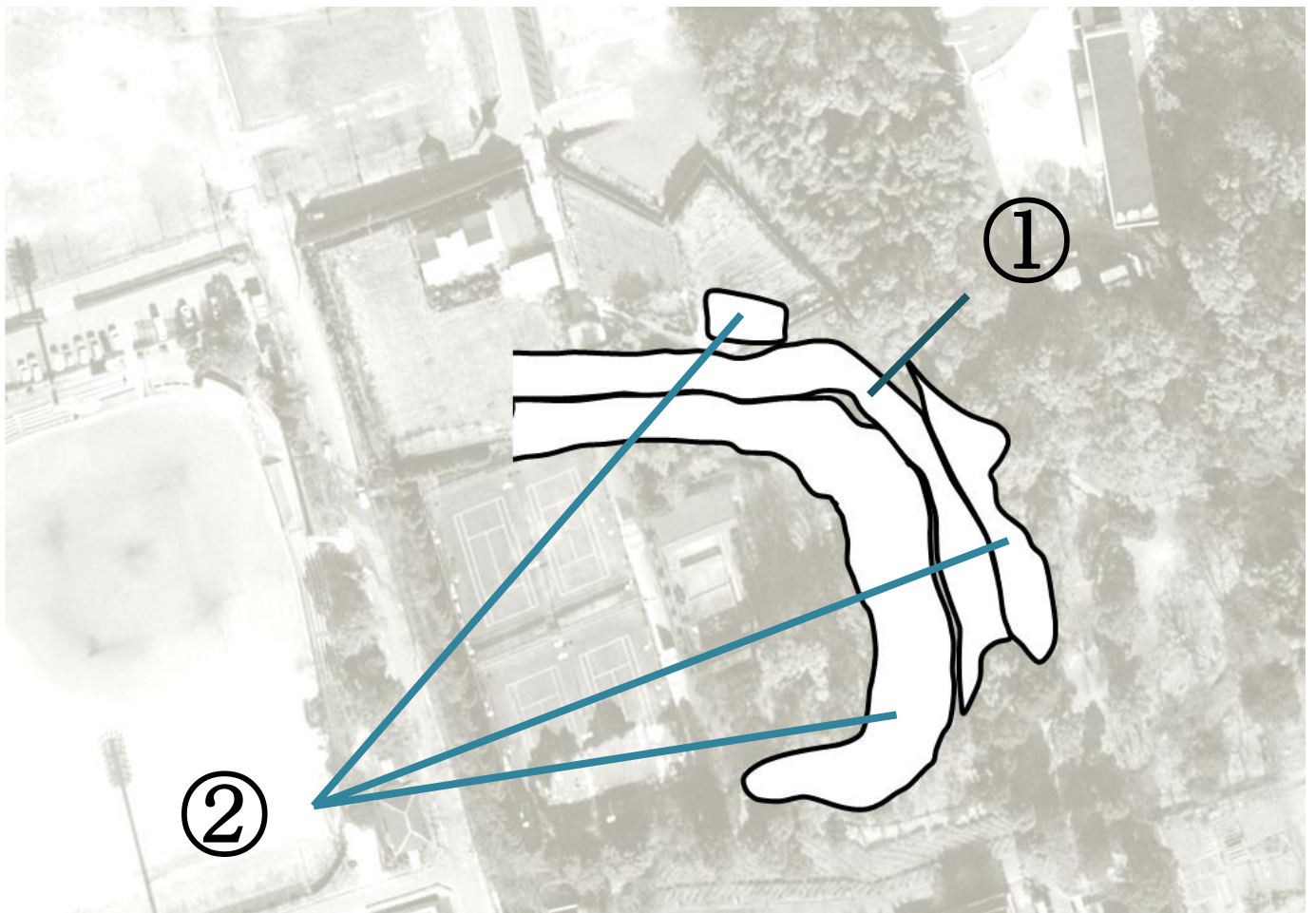
新居城を作った水野雅楽頭宗国は、大森城主の尾関氏と戦になり、勝利したと伝わっています。このとき、新居村と大森村を合わせた25ヶ村を支配したと言われています。



# クイズ 1



下の<sup>ず</sup>図の①と②は、  
どっちが「堀」でどっちが  
「土塁」かな？



→マップの<sup>くう</sup>空らん①と②に答えを書いてね！

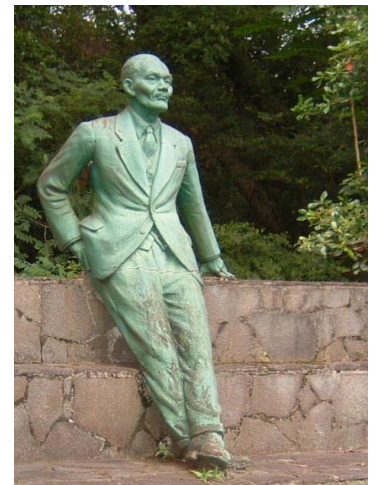
# しんりんこうえん 森林公園と高瀬五助 たかせごすけ

## はげ山だった森林

今、<sup>しんりんこうえん</sup>森林公園になっている山は、昔は<sup>むかし</sup>松が<sup>まつ</sup>少し<sup>すこ</sup>生えているだけの**はげ山**で、雨が降ると田んぼや畑に土が<sup>なが</sup>流れこんでしまいました。そのため、明治44年(1911年)からは、山に木を<sup>う</sup>植えて、土が流れてしまわないようにする<sup>じぎょう</sup>事業がはじまりました。このおかげで、森林が生まれ、田んぼや畑に土が流れこむことも少なくなりました。

## 日本初の森林公園へ

大正12年(1923年)になると、<sup>たかせごすけ</sup>**高瀬五助**が愛知県の<sup>りんむかちょう</sup>林務課長になりました。高瀬五助は、この地域の森林を生かして公園を作り、憩いの場を作ることを考えます。このころ、愛知県に「公園」と呼べるものは、まだ少なく、<sup>かっきてき</sup><sup>かんが</sup>画期的な**考**えでした。



昭和6年(1931年)からは、<sup>こうえんか</sup>公園化に向けて、土が流れるのを防ぐための木だけでなく、きれいな花をつける木を植える<sup>う</sup><sup>じぎょう</sup>事業も始まりました。今も、森林公園に残っているオオシマザクラやヤマザクラ、ヤマモモなどは、高瀬五助のころに植えられたものです。

そして、昭和9年(1934年)には**日本初の「森林公園」**となること<sup>けつてい</sup>が決定します。

## クイズ 2

写真の人の名前は  
どれが正しい？



- 高瀬五助
- 高瀬吾助
- 高橋吾助



→マップの空らん③に答えを書いてね！



## 尾張旭市で一番古い遺跡

ながさかいせき  
長坂遺跡は、尾張旭市内で、はっけん  
発見されている中では、いちばんふる  
一番古い

いせき  
遺跡です。長坂遺跡は、**弥生時代**（約 1800～1900 年前）の  
あつたてあなじゅうきよ  
ムラの跡で、**竪穴住居**という**弥生時代**の家があつた跡があつてい  
ます。この遺跡によって、このあたりには、**弥生時代**から人が**住**んで  
いたことが分かりました。

はくつちようさ  
長坂遺跡の発掘調査では、17軒の**弥生時代**の家の跡が見つかり、  
げんざい  
現在は1軒分を埋め戻して公園内で保存しています。

## 長坂遺跡からはなにが見つかったの？

ながさかいせき  
長坂遺跡からは、**土器**や、石の**矢じり**などが見つかりました。

土器は、お米を炊くための「こしき」や、「かめ」「つぼ」などがありました。



こしき



つぼ



矢じり

## 古墳ってなに？

ながさかいせきこうえん 弥生時代 <sup>やよいじだい</sup> の家の跡 <sup>あと</sup> の他に、古墳 <sup>こふん</sup> が2つ保存 <sup>ほそん</sup> されています。古墳とは、3世紀 <sup>せいぎ</sup> 中ごろから7世紀 <sup>せいぎ</sup> 中ごろ(約 1750～1350年ほど前)に、土 <sup>も</sup> を盛り上げて作った **お墓** <sup>はか</sup> のことを言います。

## 白山一号墳と天狗岩古墳

はくさんいちごうふん **白山一号墳** は、尾張旭市内で見つかっている中で一番古い古墳 <sup>こふん</sup> で、5世紀 <sup>せいぎ</sup> ごろ(1600～1500年ほど前)に作られたものです。

てんぐいわこふん **天狗岩古墳** は、長坂遺跡の近くから見つかった古墳で、7世紀 <sup>せいぎ</sup> ごろ(1400～1300年ほど前)に作られたものです。天狗岩古墳

よこあなしきせきしつ **横穴式石室** という石の部屋 <sup>へや</sup> があります。これは、亡 <sup>な</sup> くなった人 <sup>ひと</sup> を埋葬 <sup>まいそう</sup> する部屋で、出入口 <sup>でい</sup> がついています。普段 <sup>ふだん</sup> は入り口を大きな石 <sup>いし</sup> でふさいでおきますが、石 <sup>いし</sup> を外 <sup>はず</sup> せば後 <sup>あと</sup> から違 <sup>ちが</sup> う人 <sup>ひと</sup> を埋葬 <sup>まいそう</sup> することもできました。この横穴式

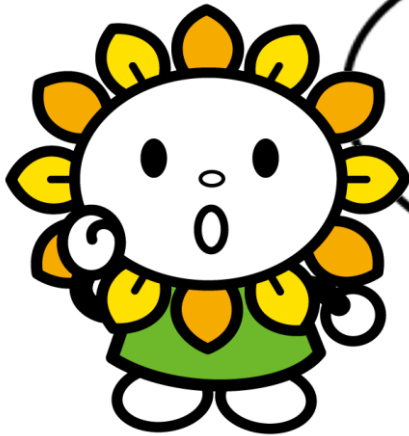
石室は、長坂公園内に <sup>いどう</sup> 移動 <sup>いどう</sup> され保存 <sup>ほそん</sup> されています。

天狗岩古墳には、少なくとも **3** 人 <sup>まいそう</sup> が埋葬 <sup>まいそう</sup> されていたと考えられています。





# クイズ 3



それぞれの名前と  
あう写真を線で結ぼう

つぼ  
●

矢じり  
●

こしき  
●

●  
ア

●  
イ

●  
ウ



→マップの空らん④にアくうの写真の名前を書いてね！

# いんばおおつかこふんこうえん 印場大塚古墳公園

いんばおおつかこふん せいきすえ ちいき  
印場大塚古墳は、5世紀末(1500年近く前)に、この地域を

しはい とうぞく はか  
支配していた人(豪族)のお墓だと考えられています。古墳の大きさは

ちよっけい たか  
直径約16m、高さ約2

mほどだと思われ、尾張旭市内で

さいだい き ほ  
最大規模の古墳です。



## なにが見つかったの？

いし えんとうはにわ  
印場大塚古墳の調査では、「ふき石」と「円筒埴輪」が

はっけん  
発見されています。ふき石とは、こぶし大の石で、古墳の表面に並べ

て古墳の山が崩れないようにするものです。円筒埴輪は、はにわの種類

の一つで、古墳を囲うように並べられた状態で見つかります。これは、

古墳と他の場所を区別するためではないかと考えられています。

また、円筒埴輪の上の方が朝顔のように広がっているものを、特に



円筒埴輪

朝顔形埴輪

あさがおがたはにわ  
朝顔形埴輪と呼んでいます。朝顔形埴輪

は、もともと円筒埴輪の上にお供え物の

ための器をのせていたものが、だんだ

んと省略されて形だけ残ったもので

はないかと考えられています。

## ふくげんかおく 復元家屋

いんばおおつかこふん 印場大塚古墳がつくられたのと同じ時期の<sup>じき</sup> 豎穴住居<sup>たてあなじゅうきよ</sup>を復元<sup>ふくげん</sup>したものです。印場大塚古墳公園にある復元家屋は、豊田市で発掘<sup>とよたし はくくつ</sup>されたものをモデルにして復元<sup>ふくげん</sup>しています。

たてあなじゅうきよ じめん 豎穴住居は、地面に 50～60cmほどの穴を掘り、そのうえに、<sup>やね</sup> 屋根をつけたものです。<sup>ゆか</sup> 床には、<sup>くさ</sup> 草やわらを<sup>ひら</sup> 平たく<sup>あ</sup> 編んだ敷き物をしき、<sup>し</sup> 中央の<sup>ちゅうおう</sup> 炉で<sup>ろ</sup> 火をたいて暮らしました。



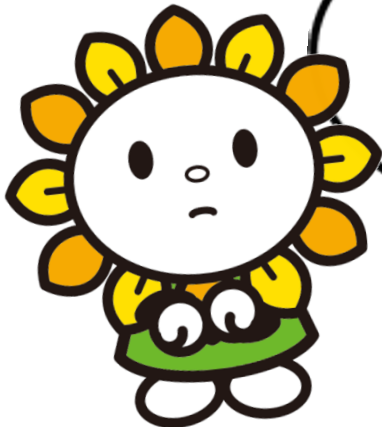
## 天狗岩古墳 レプリカ

いんばおおつかこふんこうえん 印場大塚古墳公園では、<sup>ながさかいせきこうえん</sup> 長坂遺跡公園に保存<sup>ほぞん</sup>されていた天狗岩古墳<sup>てんぐいわこふん</sup>も復元<sup>ふくげん</sup>しています。

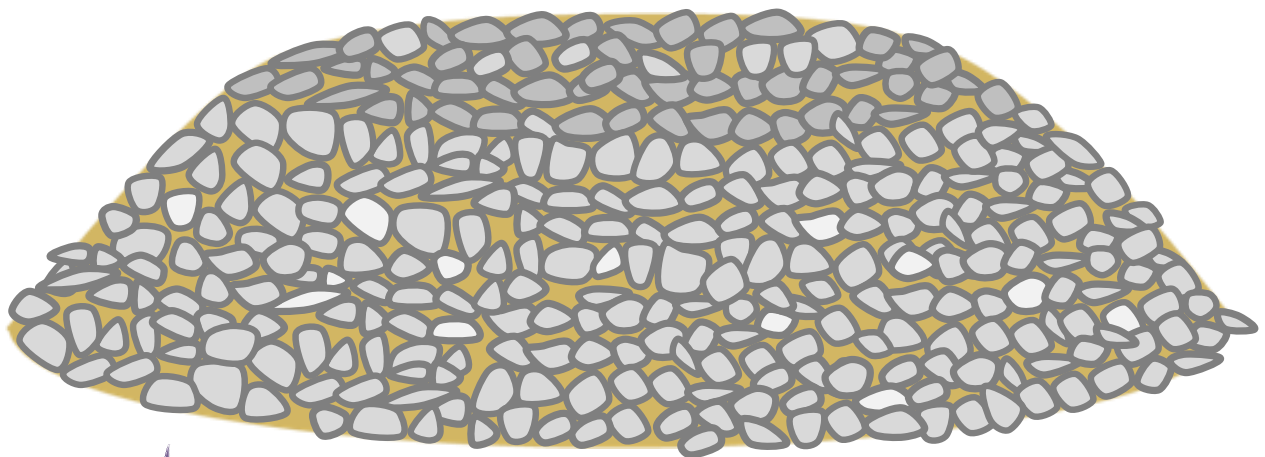




# クイズ 4



こふん ひょうめん なら  
古墳の表面に並べられて  
いる石をなんていう？



○ ○ 石

→マップの空らん⑤に答えを書いてね！

# どうだん亭<sup>てい</sup>

## 江戸時代の家！？

どうだん亭<sup>てい</sup>は、岐阜県<sup>ぎふけん</sup>の坂下村<sup>さかしもむら</sup>(今

の飛騨市<sup>ひだし</sup>)にあった合掌造りの家<sup>がっしょうづく いえ</sup>

を、昭和17年(1942年)に、移築<sup>いちく</sup>して、  
新しく建て直したものです。元々の、  
あたらし<sup>あたら</sup>く<sup>た</sup>なお<sup>なお</sup>もと<sup>もともと</sup>

合掌造りの家は、江戸時代<sup>えどじだい</sup>(1723

年)に建てられたもので、現在のどうだん  
亭にも、当時の材料<sup>とうじ ざいりょう</sup>が使われています。



どうだん亭 母屋



合掌造りの家

## 合掌造りの家って？

合掌造りのあった飛騨市<sup>ひだし</sup>は、たくさん雪<sup>ゆき</sup>が降るので、合掌造りの

家は、積もった雪<sup>ゆき</sup>が落ちやすいように、屋根<sup>やね</sup>の角度<sup>かくど</sup>が急<sup>きゅう</sup>にな

っています。また、雪<sup>ゆき</sup>の重<sup>おも</sup>みに耐<sup>た</sup>えられるよ

うに、梁<sup>はり</sup>をカーブさせたチョウナ梁<sup>ばり</sup>とい

う梁<sup>はり</sup>にします。どうだん亭の屋根の一部も合

掌造りのころの名残<sup>なごり</sup>で、角度<sup>かくど</sup>が急<sup>きゅう</sup>になってい

ます。また、チョウナ梁<sup>ばり</sup>も使われています。



どうだん亭のチョウナ梁

## なんで「どうだん亭」という名前？

どうだん亭は、昭和 17 年(1942 年)に移築され、建てかえられたあと、昭和 42 年(1967 年)に、離れと庭園がつくられました。その後、平成 9 年(1997 年)に市に寄付されたときに、庭のドウダンツツジにちなんで「どうだん亭」と名づけられました。さらに、平成 20 年(2008 年)には、国の登録有形文化財になっています。

どうだん亭は、ドウダンツツジが花をつける春と、紅葉する秋には、無料で一般公開されています。

## 庭に生き物がいる！？

どうだん亭の庭では、岩や木を使って、縁起のいい鶴と亀が



えんぎ <sup>つる</sup>鶴と <sup>かめ</sup>亀が表現されています。

<sup>つる</sup>鶴は、「<sup>と</sup>飛び<sup>いし</sup>石」と「<sup>か</sup>かれ<sup>いけ</sup>池」を使って、<sup>つか</sup>羽を<sup>はね</sup>広げた<sup>ようす</sup>様子をあらわされ、<sup>かめ</sup>亀は、「<sup>つきやま</sup>築山(小さな山)」で<sup>こうら</sup>甲羅を、<sup>いわ</sup>岩を使って頭をあらわしています。



# クイズ 5

どうだん<sup>てい</sup>亭は

なにじだい いえ  
何時代の家を

いちく た なお  
移築して建て直した

ものでしょう？



えど  
江戸

めいじ  
明治

たいしょう  
大正



→マップの空らん<sup>くう</sup>⑥に答えを書いてね！



名前

---

主催：尾張旭市教育委員会